



市有林（向嶽）を活用した 木質バイオマス材生産共同実証事業 について



市有林（向嶽）を活用した 木質バイオマス材生産共同実証事業について

5社が協定を締結

木質バイオマス材利活用推進協議会を契機に、
2021年12月15日に

出光興産株式会社、東ソー株式会社、
株式会社トクヤマ、丸紅株式会社、
周南市の5社で

「木質バイオマス材利活用及び森林整備等に関する連携協定」を締結。



川下が川上を支える
仕組みづくりを目指して

01

市有林（向嶽）を活用した 木質バイオマス材生産共同実証事業について

伐採跡地を活用し 早生樹等を植林

連携協定に基づき、2022年9月1日に
「植林実証共同事業契約」を締結。

5社が共同で早生樹を活用した再造林による
持続可能な森林経営モデルを構築すること
を目指し、森林資源の利活用を促進し、木質バ
イオマス材の地産地消を目指す。

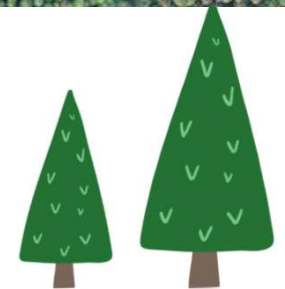
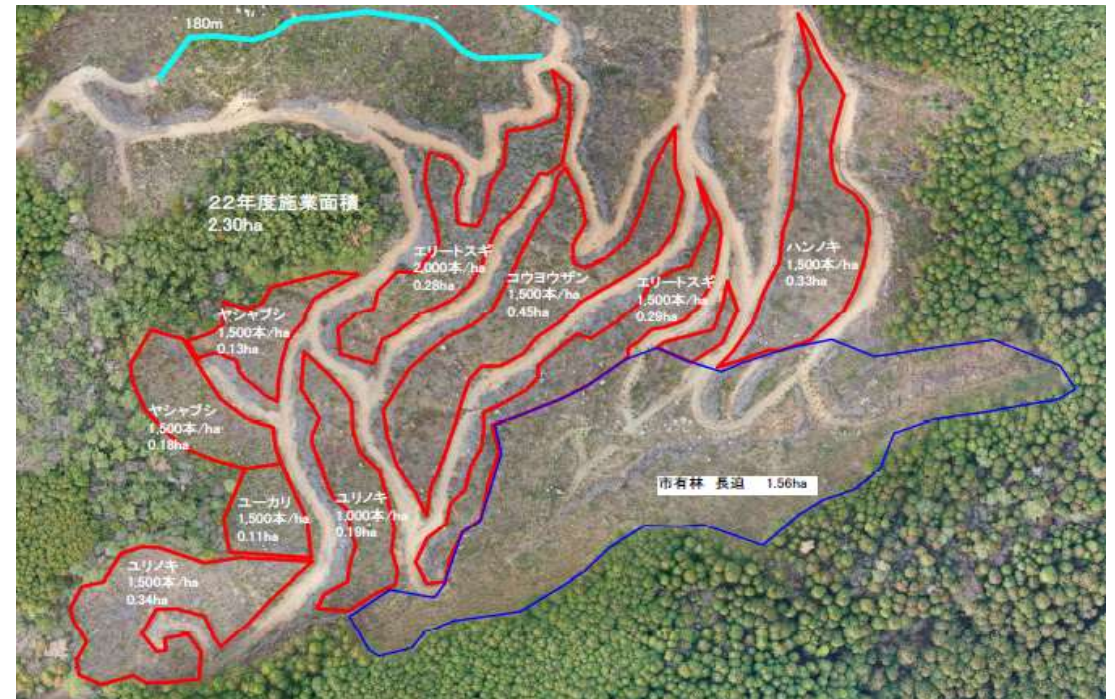


R4植栽コンセプト 早く育てて早く伐る 樹種とする

周南市向嶽の市有林の伐採跡地(2.3ha)
を活用し、早生樹の植栽を実施。

令和4年12月植林

- スギ(エリートツリー) (0.57ha)
- ハンノキ (0.33ha)
- ユリノキ (0.53ha)
- ヤシャブシ (0.31ha)
- コウヨウザン (0.45ha)
- ユーカリ (0.11ha)



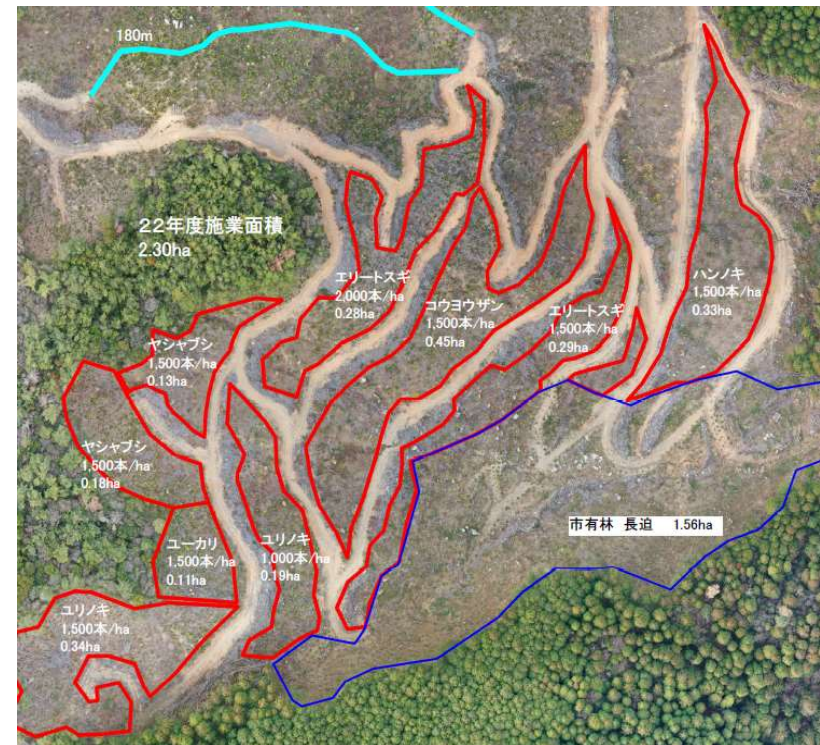
試験区の設定

樹種毎に試験区を設定し成長量を調査中。

各樹種（※ユーカリを除いた）において、
○下刈り実施
○下刈り未実施

2箇所×8地点 計16箇所の比較対象区を設定。

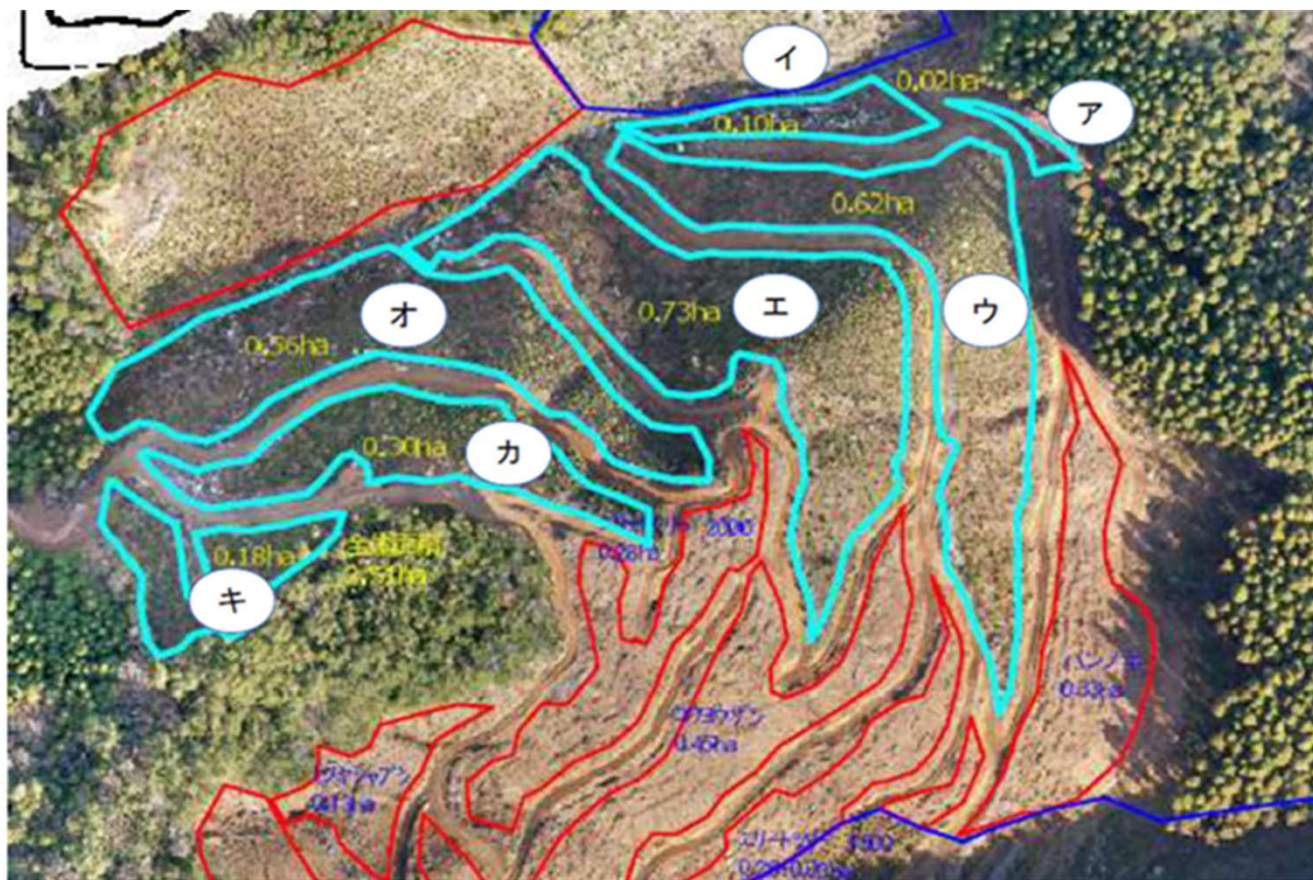
※ユーカリについては、凍害により枯損。
令和6年3月以降の温暖な気候で再度植栽予定。



03

令和5年度植栽樹種について

植栽箇所について



青線で囲まれた
ア～キの計7地点
合計約2.5haにて植栽
予定。

樹種決定に至るまでの経緯

令和5年	6月	第一回樹種選定会議	樹種選定コンセプトの決定
令和5年	9月	山口県へ樹種選定コンセプト等の確認	
令和5年	9月	第二回樹種選定会議	植栽樹種案から樹種選定
令和5年	11月	第三回樹種選定会議	確認結果を踏まえ樹種決定
令和6年	1月	第四回樹種選定会議	植栽エリア・植栽密度決定
令和6年	2月	令和5年度植栽樹種最終決定	



R5植栽コンセプトについて

① 針広混交林を目指す樹種とし混植する

§ シイ、カシ、タブ、クリ、クヌギ、コナラ
周南市に自生する広葉樹25樹種

② 早く育てて早く伐る樹種とする

§ ジャパロニア、ヤナギ



03 令和5年度植栽樹種について

植栽樹種・植栽方法・植栽密度

ヤナギ	(単植)	1,500本/ha
ジャパロニア	(単植)	1,000本/ha
シイ・カシ・タブ	(単植)	1,500本/ha
シイ・カシ・タブ	(混植)	1,500本/ha
クリ・クヌギ・コナラ	(単植)	1,500本/ha
クリ・クヌギ・コナラ	(混植)	1,500本/ha
地元植生広葉樹25種	(混植)	10,000本/ha 3,000本/ha

※地元植生広葉樹25樹種について

スダジイ、タブノキ、ナナメノキ、アラカシ、シラカシ、アカガシ、ウラジロガシ、
イスノキ、イチイガシ、ヤブツバキ、モチノキ、クロガネモチ、モッコク、シロダモ、
ソヨゴ、ヤブニッケイ、ヒメユズリハ、タラヨウ、ヤマザクラ、コナラ、クリ（ヤマグリ）、
イロハモミジ、エノキ、ケヤキ、ムクノキ